

編 集 後 記

インドのシタールの演奏会がありものめずらしさも手伝って、出かけていった。日頃あまり聴くこともない北インドの古典音楽だが、そもそもはヨガと同様、ヒンズー教の修業の一つとして伝えられたものということである。

シタールは七本の弦をもつ弦楽器だが、棹まさの部分^{マサ}が長く、たくさんのフレットで区切られている。一見してこの音楽の音階の細かさがよくわかる。私達にはおなじみの西洋音階は半音階で十二にわかれているが、インド音楽はその半音をまた、いくつもの音に分けていて微妙な音の変化を表現できる。日本の五音階とは

比べものにならないほど複雑な音の流れである。

その日の演奏会は、演奏者を囲んで床に座り、聴手と演者が一体となつて音楽を楽しむという素朴な雰囲気の中で行われた。絶え間なくゆるやかに流れるシタールの音色は、抑揚も興奮もなくひたすら心の平安と眠気をさそつた。タンブーラという伴奏楽器がまたおもしろく、五本の開放弦を下から順に一音ずつひくことのくり返しなのだ。それがシタールの旋律にうまくのり、リズムなどおおかまいなしにいいかげんにひいているように見えるのに、曲全体としてはその不揃いが不思議な心地よさを生み出している。このおおかさと一体感がインド音楽であり、インドそのものなのかもしれないという気がした。

(K)

幼 児 の 教 育

第九十三巻 第十号

(一九九四年十月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

発行 平成六年十月一日

編集兼発行人 本 田 和 子

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二一一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五一一二一一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込

六一一四一九

☎〇三―五三九五―六六〇四

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いします。

☆万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。